

広報まきのはら MAKINOHARA

紳士元気が創る 幸せあふれみんなが集う
NEXTまきのはら

砂を巻き上げ疾走



特集 地域リーダー育成プロジェクト
高校生を地域の担い手に
特集 局地的豪雨や台風への準備
有事の際には迅速な行動を

May
2017
NO.188

5



参加した高校生の中から、運営メンバー10人を選出し、市民ファシリテーターとともに運営チームを構成しました。対話の場のデザインや運営についての打ち合わせに参加し、大人と高校生が協働して取り組みました。



学び合いの場デザイン会議で協議した地域課題などを解決するため、高校や大学、市が連携し多様な人との「対話の場」を開催。生徒や学生は「学び」や「気づき」を得るとともに、会議の進行役「ファシリテーター」のスキルを学びました。



今回のプロジェクトが、マニフェスト大賞実行委員会主催のマニフェスト大賞で「優秀シチズンシップ推進賞」を受賞。これまでの取り組みが評価されたことは大きな成果であり、参加した高校生の自信にもつながりました。



高校生を 地域の 担い手に



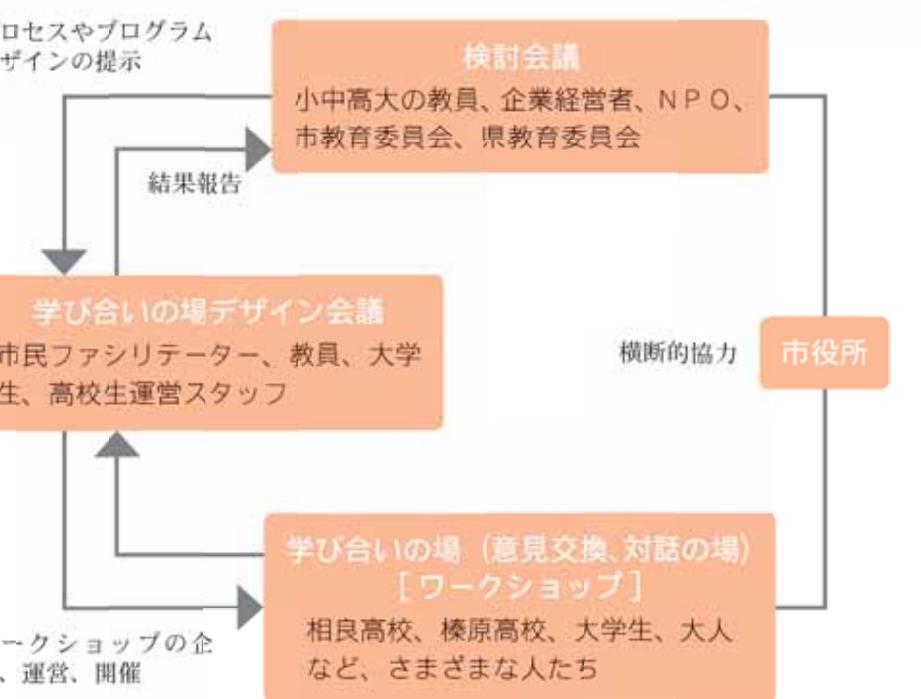
地域リーダー育成プロジェクトは、市内にある県立相良高校と県立榛原高校の生徒を対象に、大学生や大人との意見交換「学び合いの場」を通して、将来地域の担い手を育てるものです。プロジェクトには合計185人の生徒が参加し、その中の3人が市初の「高校生ファシリテーター」に認定されました。

問い合わせ 企画政策課 松井 ☎②0053

**対話により
「気づき」「学び」**
地域リーダー育成プロジェクトは、市内にある相良高校と榛原高校の生徒たちが、「学び合いの場」などを通して、将来地域を担うリーダーになることをを目指し取り組んだものであります。高校生は、学び合いの場での大学や企業、地域など、さまざまな人たちとの出会いや対話による「学び」や「気づき」によって、これからの生き方に良い刺激を受けました。今回のプロジェクトは、マニフェスト大賞実行委員会主催のマニフェスト大賞で「優秀シチズンシップ推進賞」を受賞し、高校生たちの自信につながりました。また、市初の「高校生ファシリテーター」の誕生にも結び付きました。

「対話」による学び合いを
取り組みの輪を広げる

地域リーダー育成プロジェクト体系図



通して、地域の自治を主体的に担う市民を育てることは、地域の絆をさらに深めることです。にもとても大切なことです。高校生ファシリテーターが、その一役を担う人材であると期待しています。今後、市内の高校だけではなく、近隣市の高校

やそこへ通う生徒たちとも連携し、取り組みを広げていこうと考えています。また、大学や企業などともつながりを密にし、地域への理解を深め、より地域への愛着や誇りを持ち、将来地域の課題解決に貢献する人材を育成していきます。

地域リーダー育成プロジェクトは、市内にある相良高校と榛原高校の生徒たちが、「学び合いの場」などを通して、将来地域を担うリーダーになることをを目指し取り組んだものであります。

高校生ファシリテーターが、その一役を担う人材であると期待しています。今後、市内の高校だけではなく、近隣市の高校

やそこへ通う生徒たちとも連携し、取り組みを広げていこうと考えています。また、大学や企業などともつながりを密にし、地域への理解を深め、より地域への愛着や誇りを持ち、将来地域の課題解決に貢献する人材を育成していきます。

参 加 し た 皆 さ ん か ら の 声



増田雄帆さん（榛原高校3年）*平成29年3月時点。

経験したことを社会人になっても生かしていきたい

将来、警察官になったときでも、いろいろな人の話を聞き、それを実現できるような大人になりたいと思いました。こういった良い経験を生かし、社会人になってもさまざまな人との対話を通じ、関係を深めていきたと思います。



樽林千夏さん（榛原高校3年）*平成29年3月時点。

地域の保育に貢献していきたい

大人の人は、さまざまな視点から物事を見ており、高校生だけで話し合いをするときよりも、広さだけではなく深みも話が広がっていくなと思いました。問い合わせし、自分の言葉を重ね過ぎず、方向づけてしまう言葉を選ばないようになりました。将来は地元に帰ってきて、地域の保育に貢献していきたいという思いが強くなりました。



杉山魁さん（榛原高校3年）*平成29年3月時点。

将来は地域に戻ってきたい気持ちに

将来、自分が地域に戻ってきたいという気持ちがすごく強まりました。気が付いたら、がらりと全部志望校を変えてしまいました。「絵」ではなく「チームで映像を作りたい」みたいな、全然違う方向になってしまふくらい影響を受けたので、プロジェクトに参加して大きな意味や価値があったと思います。



澤島千温さん（市民ファシリテーター）

選ぶ、決定する機会を与えることが大事

私たち大人は、子どもや高校生の力を信じて、本人たちが考え選ぶ、決定するといった機会を与えることが、非常に大事であると思っています。牧之原市だけでなく、市の壁、境界を越えて、より広域にプロジェクトが広がっていくことを願っています。



コンファレンスフォーラム
「対話でまちがつながる2日間」



「対話でまちがつながる2日間」と題したフォーラムを静岡市内のホテルで開催。全国から集まった大学生や教職員、議員、自治体職員など256人が参加。2日目には高校生が進行役のファシリテーターを務め、見事な仕切りを披露しました。



可児高校との交流



「主権者教育」に力を入れている岐阜県可児市の県立可児高校から、交流会の申し込みがありました。交流会は全2回行われ、高校2年生を中心としたプロジェクトメンバーと可児高校の生徒などが、意見交換を行い交流を深めました。



高校生ファシリテーター認定



今回のプロジェクトで活躍した増田雄帆さん、樽林千夏さん、杉山魁さんを、市初の「高校生ファシリテーター」として認定しました。地域を担うリーダーとしての今後の活躍に期待を込め、西原市長から認定証を授与しました。

局地的豪雨や台風への準備と

有事の際には迅速な行動を

梅雨や台風の季節が到来します



問い合わせ 防災課 西原 ☎ 056

自宅や地域の危険箇所と避難先の確認をしておきましょう。周辺や地域の危険箇所を知つておくことで、いざ避難となつたとき、危険な場所を避けて安全に避難できます。また、避難先も家族で確認しておきましょう。市ホームページで、平常時から災害に備えるためのさまざまな情報をお知らせしています。

近年、全国各地で局地的豪雨や台風による、大規模な風水害や土砂災害が発生しています。市でも、ここ数年の降雨状況が局地的・短時間豪雨化しているほか、接近する台風も巨大化傾向にあり、災害が発生する危険度が高くなっています。

これらの危険から身を守るために、最新の気象情報などに注意し、市から避難の呼びかけがあったときには、正しく迅速に行動することが重要です。家庭や地域で風水害や土砂災害について理解し、有事の際には、適切に行動できるよう確認しておきましょう。

災害対策の第一歩は「情報収集」から

風水害や土砂災害対策の一歩は「情報収集」です。天候の推移や河川の状況など、最新の情報を把握することで、避難の準備や心構えが

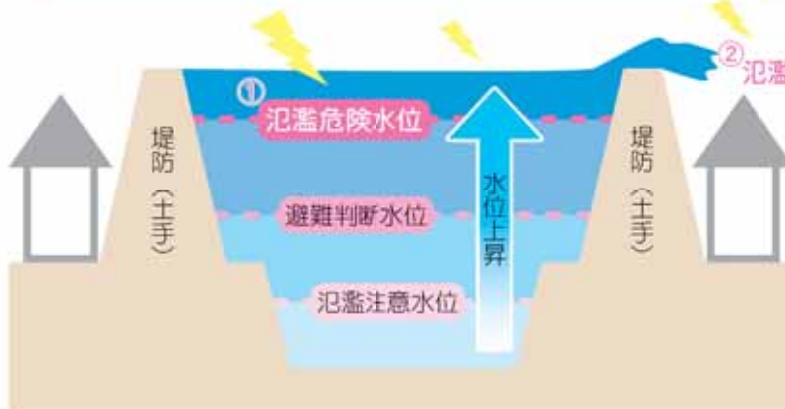
でき、市から避難の呼びかけがあつたときには、すぐに行動ができます。家庭や地域では、地上デジタルテレビのデータ放送やインターネットから最新の情報が分かります。災害が発生する恐れがある地域や災害が発生した地域の皆さんに対しては、避難勧告の呼びかけを実施（避難勧告などを発令）します。

呼びかけの種類によって、台風や豪雨のとき、市では最新情報を多角的に分析し、気象台なども連携しながら市内の状況を常に監視しています。災害が発生する恐れがある行動が異なります。正しく理解し、呼びかけがあつたときには速やかな避難行動をお願いします。

避難の呼びかけ手段

市からの避難の呼びかけ（避難勧告などを発令）は、同報無線や市ホームページの「緊急速報メール」（NTTドコモでは「エリアメール」と呼ぶ場合があります）

平成29年5月から「大井川」の洪水の危険が迫ったときに、緊急速報メールが配信されるようになりました。配信のタイミングは、大井川の水位が氾濫危険水位に到達したときおよび氾濫が発生したときになります。詳細は、広報まきのはら4月号（前号）をご覧ください。



【配信のタイミング】①大井川の河川氾濫の恐れがあるとき：大井川の河川水位が避難勧告の目安となる「氾濫危険水位」に到達した場合、②氾濫が発生したとき：堤防を越えて大井川の水が流れ出たり、堤防が壊れて大量にあふれ出ている場合

緊急速報メールは、皆さんで実施します。携帯電話へ強制的に送信されます。災害発生の危険度が高くなつたときなどには、このメールに注意してください。なお、受信拒否設定となつている場合や、一部の携帯電話には緊急速報メールが届かない場合、受信設定や機能の有無などについては、携帯電話会社へ問い合わせください。

安全で避難しやすい服装を用意し、食料や飲料水、懐中電灯、携帯ラジオなどの非常用品と、非常時に持ち出す貴重品はまとめておきましょう。また、携帯電話の充電にも注意し、毛布なども用意し避難するときには持っていくようにしましょう。

避難用品や非常用品の用意も忘れない

知っていますか？避難情報

無理な避難をしない
「垂直避難」も有効



夜間や雨脚が強い状況下での子どもや高齢者、足腰が不自由ななどの避難は、大変危険です。無理に避難所へ移動せず、住宅の2階など、高いところへの避難（垂直避難）も有効です。

河川の近くや土砂災害の危険区域にお住まいの人は、避難所への避難を優先してください。

避難勧告などの種類と住民に求める行動

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備・高齢者等避難開始*	人的被害が発生する可能性が高い	高齢者など、避難に時間がかかる人は避難開始。その他の人もいつでも避難ができるよう準備
避 難 勧 告	人的被害が発生する可能性がさらに高い	避難所へ速やかに避難開始（または高いところへ移動）
避 難 指 示（緊急）*	災害の前兆現象が発生し切迫している	いまだに避難していない人はただちに避難。避難の時間的余裕がない場合は、生命財産を守る最低限の行動をとる

*平成29年1月に名称が変更されました。

低（事態の深刻度）

高

インターネットによる情報収集



気象庁 (<http://www.jma.go.jp>)
雨雲の動き、台風の勢力や進路のほか、土砂災害などに関する防災情報が提供されています。
サイボスレーダー (<http://sipos.pref.shizuoka.jp>)
県が運営するホームページで、萩間川や勝間田川、坂口谷川の水位情報などが確認できます。
*河川水位はSBS（静岡放送）、NHK（日本放送協会）のみの提供です。

情報収集が身を守る

地上デジタルテレビのデータ放送



地上デジタルテレビのリモコンの「d」ボタンから、データ放送の防災情報（天気予報や降雨状況、河川水位など）が見れます。（「d」ボタンは、テレビの機種によって配置が異なります）

市では、河川の決壟や氾濫を想定した「牧之原市洪水ハザードマップ（洪水避難地図）」を全戸配布しています。このハザードマップは、市ホームページからも閲覧できます。また、県が順次調査を進めている市内の土砂災害危険箇所（区域）も、同じページから確認できます。

牧之原市 洪水ハザードマップ
で検索

平常時から区や町内会の避難地を確認しておきましょう。

牧之原市 お住まいの避難地
で検索

災害情報など問い合わせ（消防テレホンガイド）

牧之原市を含む静岡市消防局管内で発生している火災や救助、その他の災害について、災害の種類や場所などを電話（自動音声案内）で確認することができます。

☎ 018 (099) 5678 *フリーダイヤルではありません。

サービスの利用には通話料が発生します。電話番号の掛け間違えには注意してください。

119番通報は落ち着いて

広域化に伴い、静岡市消防局の消防指令センターで一括して119番通報を受信しています。119番通報では、指令員が通報者に次のような質問をしますので、落ち着いて聞かれたことに答えてください。

- ①火事なのか、救急なのか？
- ②どこで？（場所は…牧之原市〇〇）*冒頭に牧之原市を付けてお知らせください。
- ③何が？（人が、住宅が）
- ④どうなった？（倒れた、火が出ている）
- ⑤今の状況は？ *機材準備のために必要な質問のため、わかる範囲内で答えてください。

牧之原市消防団との連携

通常の消防署での訓練に加え、地元と密接な関係にある牧之原市消防団と図上訓練や放水中継訓練などを合同で実施することにより、市の地域特性を理解した災害対応を目指しています。



静岡市消防局では、静岡地域消防救急広域化により、災害時など近隣市町の消防署から必要な複数の消防車両を同時に動かす。活動を展開しています。さらには、消防ヘリコプターやはしご車などの特殊車両が活用可能となり、林野火災や水難事故、大規模災害などにも幅広く対応しています。

静岡地域消防救急広域化から1年

平成28年4月1日から4つの消防本部（静岡市消防局、島田市消防本部、牧之原市相良消防本部、吉田町牧之原市広域施設組合消防本部）が統合され、新しい静岡市消防局が誕生し1年が経過しました。

[問い合わせ]

静岡市消防局 消防総務課 ☎ 054 (280) 0136
牧之原市 防災課 大石 ☎ 055-0057



広域化の効果が見受けられた出動事例（平成28年4月から平成29年1月）

効果項目	全体件数	牧之原市
①現場への到着時間の短縮	263件	222件
②現場での消防隊などの数を増やすことによる現場活動の充実・強化（初動体制の強化）	124件	56件
③特殊部隊（航空機、水難救助隊、山岳救助隊）の出動	9件	3件
④その他（今までの管轄区域を越えて柔軟に出動した場合ほか）	138件	79件
合計	534件	360件

*効果項目に係る件数は、静岡地域で発生した各種災害（火災、救急、救助、消防隊・救急隊連携、その他）で、広域化の効果が見受けられた出動数です。

-広域化体制での出動イメージ-



うみ・そら・みどりと 共生するまち まきのはら



今回掲載した内容は、第2次牧之原市基本計画から一部を抜粋して掲載したもので、計画の全内容は、市ホームページでご覧ください。

基本目標④ 地球環境 「地球のために行動するまち」



▶主な取り組み エコドライブを実践する、再生可能エネルギーを導入する、緑のカーテンを設置する

環境指標(抜粋)	現状	目標
	平成27年	平成33年
家庭版環境マネジメント	31世帯/年	120世帯/年
環境マネジメントシステム取得事業所総数	51事業所	60事業所
	平成38年	150世帯/年

基本目標② 資源循環 「資源を大切にする心を育むまち」



▶主な取り組み 生ごみをたい肥にして使う、資源回収に協力する、節水する

環境指標(抜粋)	現状	目標
	平成27年	平成33年
市民1人1日当たりのごみの発生量	843g/人・日	780g/人・日
ごみのリサイクル率	27.8%	32%
	平成38年	780g/人・日

基本目標⑤ 環境教育 「環境への思いをつなぎ育てるまち」



▶主な取り組み 環境に関心を持つ、観察会や講演会などに参加する、環境情報を活用する

環境指標(抜粋)	現状	目標
	平成27年	平成33年
環境教室の開催数	21回/年	30回/年
	平成38年	40回/年
環境リーダーの数	8人	10人
	平成38年	20人

基本目標③ 生活環境 「クリーン＆グリーンを広めるまち」



▶主な取り組み 生け垣や花壇の緑を増やす、騒音の発生を防止する、水を汚さない

環境指標(抜粋)	現状	目標
	平成27年	平成33年
市民グループが管理する花壇	36カ所	40カ所
	平成38年	45カ所
生活雑排水処理率	40.3%	47%
	平成38年	55%

第2次牧之原市 環境基本計画

(平成29年度～平成38年度)

5つの 基本目標

市では、郷土の多様な風土と文化を継承しつつ、人と自然との健全な共生が確保された望ましい環境像「うみ・そら・みどりと共生するまち まきのはら」の実現を目指し、「第2次牧之原市環境基本計画」を策定しました。

問い合わせ 環境課 永田 ☎ 053-2609

牧之原市には、緑豊かな牧之原大茶園や広大な海岸線など、市民が思い浮かべる「ふるさとの風景、光、音色、香り」がたくさんあります。

第2次環境基本計画には、市にある豊かな環境を守り、復元していくことで、潤いと安らぎに満ちた環境を創出し、次世代へと継承できる、愛着と誇りの持てる「ふるさとづくり」を進めていく思いが込められています。

第2次環境基本計画では、望ましい環境像「うみ・そら・みどりと共生するまち まきのはら」の実現に向け、5つの基本目標を柱に取り組みを進めています。

①自然環境「里山・里地・里海と人をつなぐまち」
②資源循環「資源を大切にすむ心を育むまち」
③生活環境「クリーン＆グリーンを広めるまち」
④地球環境「地球のために行

めていく
「ふるさとづくりを進

環境像の実現に向け

動するまち
つなぎ育てるまち

基本目標① 自然環境 「里山・里地・里海と人をつなぐまち」



▶主な取り組み 海岸美化活動、生き物や自然とふれあう、地域の環境資源を守る

環境指標(抜粋)	現状	目標
	平成27年	平成33年
地域での清掃ボランティア活動の実施回数	33回/年	37回/年
	平成38年	40回/年
自然体験学習の実施	69回/年	75回/年
	平成38年	80回/年

計画を着実に推進していく
くために

動するまち
つなぎ育てるまち



ミヤマツツジに囲まれて尺八の演奏をする縄巻さん

つつじに包まれ春の訪れを楽しむ**■勝間田公園つつじまつり**

勝間田公園つつじまつりが4月16日、勝間田公園で行われました。

勝間田公園のある三栗山（標高89.8m）には、ミヤマツツジ（学名：コバノミツバツツジ）が群生し、昭和54年に静岡県の天然記念物に指定されています。

山頂広場や登山道では、地域の茶農家さんから新茶が振る舞われたほか、マジックショーや縄巻修巳さんによる尺八の演奏が行われ、多くの来場者が春の訪れを楽しみました。

人と水とを結ぶ100年配水池**■大江配水池築造工事安全祈願祭**

大江配水池築造工事の安全祈願祭が4月7日に行われました。

この配水池は、安全でおいしい水を安定して供給するため、100年間機能を維持することができるステンレス鋼板製の「100年配水池」で、最大貯水量は3,000立方メートル。平成30年2月末の完成を目指し、着実に工事を進めています。

また、皆さんのが水道事業を身近に感じられるよう、現在施設の外観や愛称を専門家や水道使用者、事業者と共に検討しています。



安全祈願祭でくわ入れを行う西原市長と完成イメージ図

長藤の甘い香りが会場を包む**■東光寺長藤まつり**

4月16日から5月3日まで、東光寺長藤まつりが開催され、園児や住民らでにぎわいました。

東光寺の長藤は、磐田市の行興寺から熊野の長藤を一枝譲り受け育てられ、花房が1メートル以上も垂れ下がり、紫色の美しい花をつけます。

今年は例年に比べ1週間ほど遅く開花。開催期間中には、夜間のライトアップも実施されました。

訪れた人々は、長く垂れ下がった長藤の香りを楽しんだり、食事をしたりとそれぞれの時間を過ごしていました。



長藤の見学に訪れた近隣の園児や住民

**心温かいやさしい看護師を目指す****■静岡県中部看護専門学校入学式**

本市と藤枝市、焼津市、吉田町が運営する静岡県中部看護専門学校の入学式が4月10日、同校講堂で行われました。

今年度の入学者は42人で、本市からは鷺坂月乃さんが入学しました。

鷺坂さんは「患者さん目線で、患者さんのことを一番に考えられる看護師を目指していきます」と決意を語りました。

生徒は3年間、看護の知識や技術、精神を学び、地域に貢献できる看護師を目指します。

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課 ☎052-230-0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



入園児を歌やあいさつで出迎える年中組と年長組の園児

みんな仲良く遊ぼうね！**■相良こども園開園式・入園の集い**

相良幼稚園から認定こども園に移行した「相良こども園」の開園式と入園の集いが、4月4日に行われました。

相良こども園は、保育に必要な給食調理室を増設し、0歳児からの受け入れが可能となりました。入園した1歳から3歳児の22人は、年中組と年長組の園児から歌やあいさつで出迎えられました。

名波令子園長は「こども園は初めての挑戦。保護者や地域の皆さんと相談や話し合いをして良い園にしていきたい」と話しました。

若い力を十分に発揮し地域を守る**■平成29年度牧之原市消防団辞令交付式**

市消防団辞令交付式が4月2日、静波体育館で行われ、新入団員54人と女性消防隊員3人が新たに辞令交付を受けました。

新たに消防団長に就任した伊藤正哉団長は「訓練を重ね、消防団活動に早く慣れることが願っています。若い力を十分に発揮し、自覚と責任、誇りを持って消防団活動を行ってほしい」と新入団員を激励しました。

新入団員の畠大介さんは「消防団活動を通して、地域に貢献したい」と意気込みを語りました。



観覧者（西原市長）から辞令交付を受ける伊藤団長

ラッピングスクールバス出発！**■スクールバス出発式**

牧之原市初となるスクールバスの出発式が4月6日、相良庁舎駐車場で行われました。

スクールバスは、片浜地区の児童33人が相良小学校までの登下校時に利用されるほか、市内小学校の校外授業時にも利用されます。

バスの側面にラッピングされたイラストは、市内の小学生が描き、この日行われた始業式に合わせて披露されました。

池村勇輝さんは「元気に学校へ行こうと思えるデザイン。大切に使います」と話しました。



ラッピングスクールバスの出発を喜ぶ児童たち

**手作りの作品で魅了****■大沢手芸教室作品展**

15年間活動をしてきた大沢手芸教室の作品展示会が、4月2日から8日にかけて般若寺（大沢区）の書院で行われました。

会場には、手芸教室のメンバー8人が作ったつるし飾りや人形、日傘などの約400点が展示され、訪れた人は作品の前で足を止め、手作りの素晴らしい出来栄えに魅了されていました。

手芸教室の皆さんは「みんなと楽しく作っています。できたときは本当にうれしい。これからも続けていきたいです」と話しました。

人のうごき（牧之原市の人口）
POPULATION

■人口 46,500人（前月比+87人）
(内外国人 1,366人)
男性 23,146人 女性 23,354人
出生 22人 死亡 47人
転入 317人 転出 211人
そのほか +6人
■世帯数 16,625世帯（前月比+149世帯）
平成29年4月30日現在（住民基本台帳人口）

忘れないで（税の納付期限など）
TAX etc

6月の納期一覧
市県民税 第1期 6月30日金
国民健康保険税 随期 6月30日金
後期高齢者医療保険料 随期 6月30日金
介護保険料(65歳以上) 第2期 6月30日金
水道料 4・5月分 6月30日金
保育料 6月分 6月30日金
市営住宅使用料 6月分 6月30日金

トップページ（表紙のお話）
TOP PAGE

第41回さがら草競馬大会が4月23日、さがらサンビーチで行われ、家族連れなどでぎわいました。この大会は、砂浜周回コースで行われる国内唯一の競馬大会です。迫力満点のサラブレットレースのほか、ボニーレースや子どもたちによる人間草競馬なども行われ、大会を沸かせました。

待っています（広報紙の感想）
READERS VOICE

読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、牧之原市への思いなどを待っています。
〒421-0495 静波447番地1 秘書広報課
Email:seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



戸栗 月希乃ちゃん（1歳）
平成28年2月17日生（静波）

いつも明るくニコニコな月希乃♥保育園でも先生やお友達と楽しく過ごしてね★



横山 開士くん（1歳）
平成28年4月23日生（静波）

横山家のアイドル★4姉兄の末っ子としてたくましく育っています♪大きくな～れ!!



芳村 陽生くん（1歳）
平成28年4月4日生（静波）

毎日、太陽のような笑顔でみんなを元気してくれてありがとうございます♪大きくな～れ★



山田 葵翔くん（0歳）
平成28年5月30日生（波津）

我が家のアイドル三男坊もうすぐ1歳だね★これからもすくすく大きくな～れ!!

元気なKIDS募集中

7・8・9月号の掲載希望のキッズを受け付けます。申込時間を守って、電話で申し込みをしてください。

申込日時 6月2日金 午前8時15分～

申込資格 揭載時に市内在住の4歳未満の子ども
申込先 秘書広報課 ☎052

雨が多いこの時期は、心が弾む＆ワクワクする、ステキな本を探しに図書館へ！



うんどうかいが
なんだ！

きむらゆういち作／
大木あきこ絵
新日本出版社刊

かけっこがビリだから運動会が嫌いなブタン。ポンスケよりはやく走るために一生懸命練習をしましたが、転んでビリになってしまいました。くやしくて仕方のないブタンは…。

東海の自然さんぽ
スニーカーであるく
24コース

JTBパブリッシング刊



日帰りで行って帰れる、東海の自然スポットのおさんぽ24コースを、途中で立ち寄りたい飲食店、雑貨店、観光施設などとともに紹介する。コースアドバイスや歩行時間・距離、地図なども掲載。



きょうおひさまが
でなかつたら

塚本やすし作・絵／
縣秀彦監修
フレーベル館刊

ある朝、急におひさまがいなくなってしまった。おひさまのいなくなった世界はどうなっちゃうの？ぼくは、お父さんとおひさまを探す旅に出で…。太陽が人間にとて身近で大事な存在であることを伝える、ちいさな科学者たちへ贈る科学絵本。

今ひとたびの、和泉式部

諸田玲子著
集英社刊



優れた歌人として、また藤原道長から「うかれ女」と呼ばれ、恋多き女として語られる和泉式部。しかし、そこには切ないわけが…。謎多き和泉式部の生涯を、新たな視点から描いた長篇歴史小説。

児	カレー地獄旅行 ヨリヨクイキル食育絵本	ひげラク商店
児	こまちちゃんつぎはー？	川口加作/浅田啓監修
般	子供にしがみつく心理 大人になれない親たち	加藤 誠三
般	いとしの自家製 手がおいしくするもの。	山脇 りこ
児	……児童書	一般書
	……相良・榛原両図書館で借りることができます。	全……両図書館・ひまわり号で借りることができます。

般	1分間やる気回復術 いつでも「すぐやる人」になる	石井 貴士
般	救急病院	石原慎太郎
般	ワインガールズ	松山三四六
般	やめるときも、すこやかなるときも	窪 美澄
全	……両図書館・ひまわり号で借りることができます。	

相良図書館（相良保健センター2階） ☎0532649
榛原図書館（榛原文化センター2階） ☎05320094

開館時間 午前9時～午後5時
＊水曜日は午後7時まで。
休館日 ▶毎週月曜日（祝日は開館）▶年末年始
本の返却 相良町舍当直室または、榛原文化センターで返却可能。（年末年始除く）

移動図書館ひまわり号巡回日程一観

（写真で紹介している図書はひまわり号でも借りることができます）

1コース／6月6日火	5コース／6月20日火
2コース／6月7日水	6コース／6月21日水
3コース／6月13日火	7コース／6月27日火
4コース／6月14日水	8コース／6月28日水
運行表は図書館に置いてあります。	



輝け!未来

川合 芳奈さん

かわい・かんな

棟原中3年

静波区

周りの人たちを笑顔にできる仕事に就きたい 感謝の心と礼儀を重んじることを大切にしたい

私は今、剣道で全国制覇を目指し、日々の稽古をがんばっています。稽古ができるごとに、指導を受けられること、対戦相手がいることに感謝することを忘れず、全力で稽古するよう心がけてきました。将来は周りの人たちを笑顔にできる仕事に就きたいと思っています。そのために、剣道を通して学んだ、感謝の心と礼儀を重んじることを大切にしていきたいです。

E牧之原市541UR(23)0052
http://www.city.makinohara.shizuoka.jp
seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

私は今、剣道で全国制覇を目指し、日々の稽古をがんばっています。稽古ができるごとに、指導を受けられること、対戦相手がいることに感謝することを忘れず、全力で稽古するよう心がけてきました。将来は周りの人たちを笑顔にできる仕事に就きたいと思っています。そのために、剣道を通して学んだ、感謝の心と礼儀を重んじることを大切にしていきたいです。

私は今、剣道で全国制覇を目指し、日々の稽古をがんばっています。稽古ができるごとに、指導を受けられること、対戦相手がいることに感謝することを忘れず、全力で稽古するよう心がけてきました。将来は周りの人たちを笑顔にできる仕事に就きたいと思っています。そのために、剣道を通して学んだ、感謝の心と礼儀を重んじることを大切にしていきたいです。

ベンを置いてー編集幸記

▼今年もさがら草競馬大会の取材に行きました。近くで見るサラブレットの走りはやはり迫力満点です。ボニーースでは、ボニーが騎手を振り落したり、コースを逆走したりする恒例のハブニングが、観客から「がんばれ」と大きな声援と拍手が送られていました。今年も会場には多くの一般のカメラマンが集結し、一瞬のシャッターチャンスに挑んでいました。中には市外から来た写真部の高校生もあり、先生が生徒にカメラの使い方や、撮影の仕方を指導する姿も見られました。その様子を見て、改めて自分の撮影の仕方が確認できました。砂浜での草競馬大会は全国的に珍しいので、ぜひ来年も皆さん訪れて楽しんで、その魅力を市外の友達や親戚などにも、伝え広げていってほしいと思います。